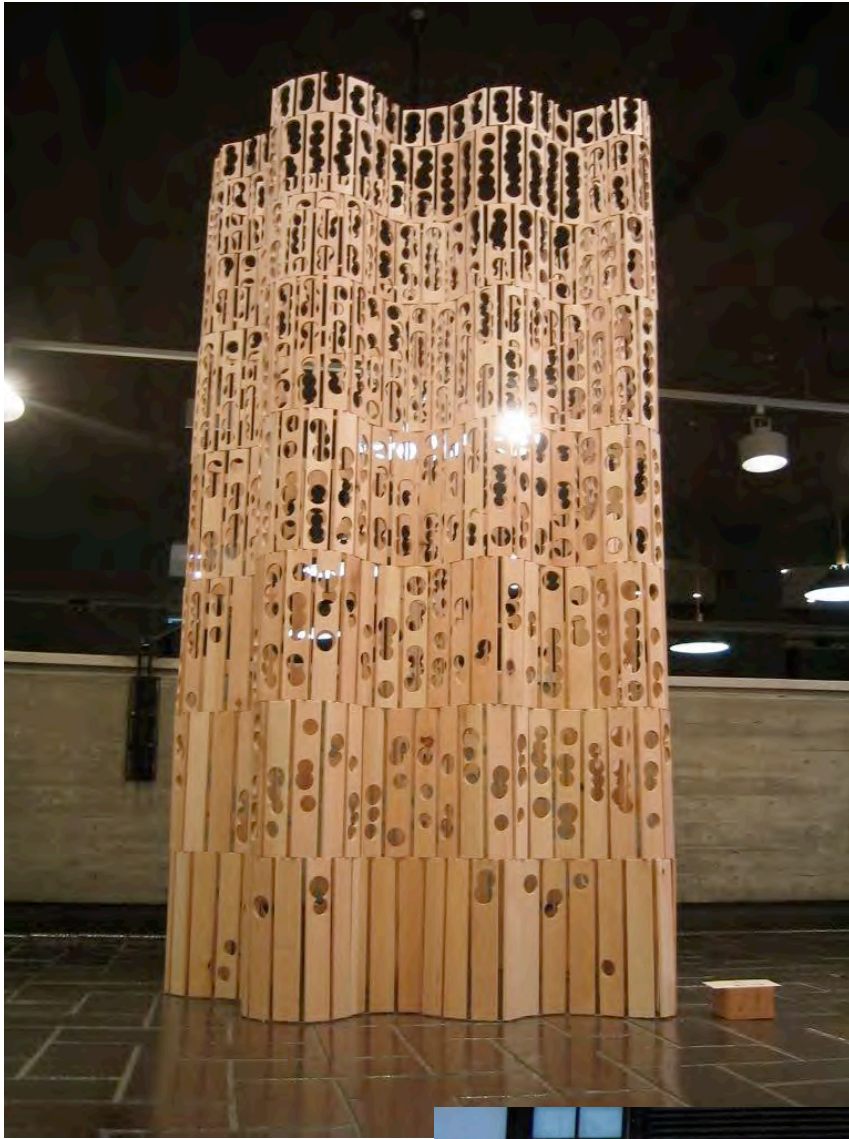


『私を創ってくれた3つの作品』

スペースデザイン部会員 五十嵐 史帆

【作品 1】



題名：「樹」
制作年：2006年
サイズ：H2100×W1500×D1000mm
素材：紅松、竹

大きくて華奢なものをつくりたいという挑戦からはじまったのですが、板に穴を開けるのが楽しくなり、上部にいくにつれ穴の数が増えていきました。木片を竹のピンで組み合わせただけの作品なので会場で移動した際に崩れ、たくさんの人に支えて（押さえて）もらって展示したのが思い出です。その後、木片を足したり組み替えたりして古民家でも展示を行いました。制作だけでなく、運搬・展示を強く意識させた作品です。

【作品 2】



題名： 「a bag 02」
制作年： 2013 年
サイズ： H2000×W600×D600mm
素材： 檜、ワイヤー、水性塗料

直径約 50mm, 厚さ 7mm の榎（ムロ）の木片を繋いだ作品です。木片の繋ぎ方や自重で緩やかに凹ませ、有機的なイメージをめざしました。前作の 01 よりワイヤーを通す位置や向きを調節し、木片ごとに穴などで変化をつけ、木片を単なる部品でなく一つひとつが表情を持つよう試みました。公募搬入 2 日前の夜中に「かたちが気に入らない」からとほぼ全て解体してしまい地獄を見た苦い思い出がありますが、その甲斐あって新作家賞をいただきました。妥協せずによかったと思うと同時に、夜中に制作することはやめようと心に誓うこととなった作品です。

【作品 3】



題名：「Cocoon 2020」
制作年：2020年
サイズ：H200×W300×D300mm
素材：林檎、綿糸、塗料

直径約26mm, 厚さ1.6mmの林檎の木片をゆるく湾曲させて繋ぎました。SDのミニアチュールに出品した小さい作品です。それまで、作品をいかに大きく見せるかということにしばられていたところがありましたが、前年の受賞作家展の際の会員の方々からのアドバイスから、小さくても魅力ある作品を作りたいと思うようになりました。自分の気持ちや身体、今の状況（生活）と「作品で表現すること」が無理なく重なっているのを感じ、自分の制作のスタイルが（やっと・・・）見えたような気がしている作品です。

五十嵐 史帆 プロフィール

東京都生まれ（新潟県上越市在住）
2004年 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
（博士課程）修了
2004年 第68回新制作展スペースデザイン部門 初入選
2007年 「現在の造形 -Life&Art- 展」
（東広島市立美術館／広島）
2009年 上越教育大学大学院（美術科教育）着任
（現在に至る）
2010年 第49回日本クラフト展（丸ビルホール／東京）
2013年 第77回新制作展スペースデザイン部門
新作家賞受賞（同2018年受賞）
2019年 新制作協会 会員推挙